

2024年度JKA補助事業に係る導入機器の評価について

【令和7(2025)年1月17日(金)14:00～ 紬織物技術支援センター】

1 参集者 菊池所長、宮間副所長、葦名副所長兼管理部長、渡部副所長兼技術交流部長、
枝野機械電子技術部長、加藤材料技術部長、阿久津食品技術部長、
佐瀬繊維技術支援センター長、小坂県南技術支援センター長、
樋口紬織物技術支援センター長、山越窯業技術支援センター長

2 導入した機器

顕微ラマン分光装置(材料技術部)

ア 機種 顕微ラマン分光装置：日本分光株式会社 RMP-510

イ 購入先 新日本産業株式会社

ウ 契約金額 12,320,000円

3 実施経過

令和6(2024)年 5月17日 銘柄指定委員会開催

7月9日 一般競争入札実施

7月16日 購入契約締結

11月19日 納品、検収

12月19日 支払い

4 現在までの使用状況

正副担当2名を配置し、運用を開始した。機器導入から約1ヶ月で、試験機器の新機能確認やマニュアル作成、機器の活用トレーニングに取り組み、企業が機器利用や研究等で21件利用した。

5 今後予想される波及効果

顕微ラマン分光装置は、本県が重点的に振興を図っている自動車・航空宇宙・医療福祉機器産業などを支える金属表面加工業、無機材料製造業、プラスチック製品製造業などにおいて、材料の分子構造等を評価するために必須といえる機器である。当該機器の導入により、金属材料やプラスチックなどの構造解析や結晶性評価が可能となり、大手企業から求められる品質管理に県内中小企業が対応できるようになった。その結果、地域企業や地域経済の継続的な活性化・発展に繋がること期待できる。

6 総括

県内中小機械金属・プラスチック製造業などのニーズの把握やそれに基づく機器仕様の検討について、本庁工業振興課と産業技術センターが連携して取り組んできた。これにより、交付決定後、速やかに銘柄指定委員会を開催し、機器仕様を決定することができた。機器の納入後、メールマガジンやホームページを活用した広報・周知を行っており、当該機器への問い合わせは増加している。今後、技術講習会や企業からの技術相談など、あらゆる機会を通じて今回導入した機器の周知を積極的に推し進め、十分な活用を図っていくこととする。